
桜通り。

Natu

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
桜通り。

【Nコード】
N7746K

【作者名】
Natu

【あらすじ】
自分の地元の桜を見て思った事を書いたものです。

（前書き）

此方は、自分の地元での桜を思いながら書かせて頂きました。

残酷なしの短編です。
・

私の地元の若葉台は毎年3月の下旬辺りから4月の上旬あたりにかけて道路の周りに生えている桜の木達から綺麗な桜が咲く。

もちろん。天気等である程度差はあるが・・・。

しかし、22年間も暮らしてこの光景を見て嫌だという事は思った事は無い。

寧ろ落ち着くのである。これを私はこう呼んでいる『桜通り』と。

鮮やかなピンク色でその下をたまにだが歩くのが私は好きだ。

『桜通り』を見ると新たな生活が始まると実感させられる気がする。

と同時に、何度も見ても飽きない。

また、天気が良い時は出身中学の橋にはご年配の方等がすべてではないがカメラを構えて桜の写真を撮ったりしている。

また、風が吹くと桜が舞い散る。これがまた風情があつてとてもい

い。

だが、雨桜は寒くてあまり好きではないが、
気まぐれに好きになる
場合もある。

此処から先は詩見たいなものである。

さくら。

さくら。

風が吹くとともに雪のように舞い散る。

私はこの風景が好きだ。

さくら。

さくら。

其れは春雪だ。

『桜通り』完。

（後書き）

此処までお読みいただき有難うございました。

最後はオリジナルの詩をつけてみましたが、ちゃんと詩になっているかが不安ですが（笑；；）

これからもどうぞ他の連載等暖かく見守って頂ければ幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7746k/>

桜通り。

2010年10月22日10時12分発行